

定例市長記者会見録

日 時：7月19日(月) 午後1時30分～2時

場 所：本庁舎6階特別会議室

出席者：一宮市 中野市長、福井副市長

報道機関 朝日新聞、中日新聞、読売新聞、NHK

本日の案件は3つです。

1番目は「コロナ感染者の調査におけるスマホ利用の紹介」です。市公式ウェブサイトにも、コロナで陽性となった方に対する案内ページを掲載し、そのページの中で、皆さんのスマートフォンの位置情報を利用し、行動履歴をより正確に思い出していただくお手伝いをさせていただきます取り組みです。

保健所ではコロナの陽性が判明した際、積極的疫学調査として、その方の14日前までさかのぼった行動履歴の電話確認を行います。ただ、14日前となりますと正確に思い出せないことも多く、聞き取りに1時間以上を費やすケースも数多くあります。そこで、AndroidではGoogleマップアプリのタイムラインに、iPhoneではGPSに位置情報が残り、自分がどこにいたかという情報が分かる機能を活用することとしました。コロナの症状でつらい中、あいまいな記憶でやりとりするより正確に行動を思い起こすことができます。一方で、職員を対象にアンケート調査を行ったところ、自分のスマートフォンにGPS機能があることを知らなかったという回答が多くありました。また、その機能を使って、保健所からの行動履歴調査に回答するかという問いに対しても慎重な回答が多くみられました。自分がいつ、どこで、何をしていたかという情報を明かすことにつながるかも知れず、保健所の調査で使用するのはハードルが高いと理解しています。そこで、患者さんが記憶をより鮮明に思い出そうとするときにこの仕組みを使ってもらうにとどめ、保健所がデータで受け取って調査に使うというようなことは行いません。14日前までの行動履歴を思い出すのにお困りの際に、活用いただくものです。

2番目は「『ペーパーレス会議』を始めます」です。対象は市が主催する20名以内の審議会、委員会、協議会などです。市が主催する会議は91あり、年間326回、1会議あたり年間およそ4回行っており、延べ1,268人の委員の皆さんにご出席いただいています。これらの会議では、10万枚を超える紙が使用されています。そこで、デジタル化した資料を取り込んだ会議用パソコンを最大20台用意いたします。参加される方には画面をご覧くださいながら、会議を進めていただくことにします。会議の内、50%はペーパーレス会議で行うという目標を掲げております。実際には紙を使用する必要がある場合もありますので、削減する紙の目標としては25%を見込んでいます。ちなみに、市役所全体での紙の使用量を調査した結果、年間約1,000万枚でした。今回、ペーパーレス化する会議で使用する10万枚のうちの2割となりますと、削減量は2万枚にとどまりますが、千里の道も一歩からということで、まずこの取り組みを始めます。

3番目は「パラリンピック事前キャンプ関連事業について」です。アメリカのホストタウンとして、常に受け入れ態勢の見直し等を行いながら準備を進めています。アメリカ女子シッティングバレーボールチームの皆さんの練習風景を、市公式 YouTube チャンネルでライブ配信することで、市民の皆さんにご覧いただくとともに、横断幕やのぼり旗を作成し、掲出します。練習会場の一般公開は行いませんので、ご承知おきください。大切な試合の前に、万が一にもこちらからチームの皆さんにコロナをうつすことがあってはいけませんので、厳格な方法を採用させていただきました。チームが試合を終えた後は、何か交流を行えないかを現在検討中です。本市のおもてなしの精神が、チームの皆さんに伝わればと考えております。

以上、本日の説明でございます。

質疑応答の概要

■ コロナ感染者の調査におけるスマホ利用の紹介について

(記者) Google のタイムラインを利用するきっかけは何でしたか？

(市長) 保健所の業務が逼迫している一番の要因は、感染者の行動履歴調査です。陽性者の記憶をたどって履歴調査をするのには、限界があります。他の国のように公共の福祉のために、デジタルの記録を義務付けるのは極端です。その中間で、日本的な方法を保健所職員と協議し、まずは自発的な協力を呼び掛けることとしました。

(記者) タイムラインを利用するのは、保健所職員の発案ですか？

(市長) 私も、意見を出しました。

(記者) 調査対象となる方は、実際にスマホの行動履歴を見ながら対応されている方が、多いのでしょうか？

(市長) 多くの方が、スマホを使って話されますので、話されている間は、スマホを操作できません。陽性になった場合に、これからご案内する市ウェブサイトのページをご覧いただいて、過去2週間の行動履歴についてお伺いするので、ご自身の記憶に自信がなければ保健所とお話する前に確認をしていただくよう紹介していきます。

(記者) 現状で保健所の担当者が相手に電話されたときに、2週間前の行動履歴はあまり覚えていないと思われませんか。スマホをお使いの方であれば行動履歴が見られることを紹介してから、行動履歴を確認されていますか？

(市長) 今までは、行っていませんでした。

(担当) たまたまスマホのこの機能を知っていた調査対象者が自主的に利用された例はありますが、保健所から紹介はしていません。

(市長) 市のシステムを使い、市職員約1,000人を対象にアンケート調査しましたが、半数以上がこのスマホのGPS機能を知らないという結果でした。それであれば、行動履歴を確認する方法としてこの機能を紹介した方が良いと思いました。

(記者) 他の自治体での利用実績はありますか？

(市長) 現在まで確認したところ、見当たりませんでした。一宮市が初となります。アンケート調査からスマホの位置情報というのは、監視されているイメージがあり、非常にセンシティブな情報だと思いました。しかし、積極的疫学調査ということで、過去2週間の行動履歴を正確に分かった方が感染拡大防止につながります。ご本人のご納得いただける範囲で、正確かつ効率的に保健所に情報を提供していただけたらと思います。

(記者) 今後、報道発表や市ウェブサイトへの掲載以外に、調査対象者にご案内されるのですか？

(市長) 市ウェブサイト、『新型コロナウイルスに感染したら』というページを掲載しますので、このページをご覧の上、ご準備していただくようご案内していきます。

(担当) 行動履歴を聞き取るのに1時間以上かかりますので、このスマホの機能を紹介し、行動履歴を確認して事前に準備していただくようご案内します。

(記者) スマホ利用はいつから始めるのですか？

(市長) 今日から取り入れます。

■「ペーパーレス会議」を始めます

～「SDGs」×「エコ」×「デジタル」＝「ペーパーレス」～

(記者) 今まで多くのペーパーを用いていた会議で、今回よりペーパーレスとなる会議を取材できますか？

(市長) 8月には、ペーパーレス会議がありますので、改めてお知らせします。

(記者) ペーパーレス会議では、会議中はPDF資料を見ながら行うと思いますが、会議終了後にPDF資料を参加者に配布するのですか？

(市長) はい。会議の内容によっては、事前に会議資料を送付してご覧いただくこともあります。

(記者) 必要に応じて、参加者に資料をコピーしてもらおうということですか？

(市長) はい。

■パラリンピック事前キャンプ関連事業について

(記者) 事後交流は、障害をお持ちのお子さんを中心に行われるのですか？

(市長) 現在、その案も含めて検討しております。また、リアルな同一空間での交流を目指して調整を進めています。

(記者) アメリカは強いチームなので、事後交流は決勝戦終了後の予定でしたね。

(市長) はい。パラリンピックが終わるまで、東京にいてもらえることを、我々も期待しています。

■新型コロナワクチン接種関連

(記者) ワクチンについてはどんな状況ですか？

(市長) ワクチンの配分の関係では、調整枠で県からご配慮いただいています。今月中には、接種枠を少し増やして発表できるようにします。

(記者) 計画に変更はありますか？

(市長) 接種枠は少し増やせます。接種会場について調整していますので、今月中に発表します。

(記者) 今のところ、混乱は起きていないですか？

(市長) 65 歳以上の方の場合は、クリニックや市役所の窓口に押し掛けたという報道がありました。現役世代では、そういったことはありません。国が大きく方針を変えたことが大ニュースになっているので、少し冷静に見ていただいていると感じています。

(記者) 市内のコロナ感染者は減っていますが、デルタ株は増えていますか？

(市長) 愛知県の発表では、1 割程度です。

(記者) ワクチン接種を 2 回終了された 65 歳以上の市民は、どのくらいいらっしゃいますか？

(市長) 65 歳以上の一宮市民全体の接種状況は、7 月 18 日付で、1 回目の接種が 8 割を超えました。2 回目の接種が終了された方は 2/3 です。

(記者) 希望する市民全ての接種が終了するのは、いつ頃ですか？

(市長) 国は 11 月末とアナウンスしているので、それに向けて頑張ります。

■みんなの制服プロジェクト

(記者) 新制服の出来栄えについて、どのように感想をお持ちですか？

(市長) 新しいデザインの制服が、製品として店頭に並ぶことを楽しみにしています。